



上舞木供養塔

※ 三春町歴史民俗資料館

○ 館庭

(4) 田村庄司家と三春田村氏（南北朝～戦国時代）

田村地方は、たむらのしょう田村庄といわれ、平安時代の終わりごろから戦国時代までは、和歌山県の熊野新宮という神社の私有地（しょうえん荘園）がありました。

14世紀におこった南北朝の争いは、全国を二分した政権争いですが、この田村地方も約60年間、その争いにまきこまれました。

そのころ田村地方で力をもっていた豪族は、田村庄司という一族でした。田村庄司家は、今の郡山の守山地方を本きよ地にして、きたばたけあきいえ北畠頭家にしたが南朝方について戦いました。

しかし、1396年にあしかがうじみつ足利氏満のひきいる鎌倉軍によって、せめほろぼされてしまいました。